

里山から庭先まで

麻生にヤマユリを再生させましょう

ヤマユリ通信 vol.4-1

麻生区地域課題対応事業 麻生ヤマユリ植栽普及会 H24. 6. 25 発行

◆もくじ◆

▶ヤマユリ開花時案内： 7月初旬から中旬、開花観賞どき！・・・1

▶植栽地案内： もうすぐヤマユリの大輪の花を堪能できます！・・・2、3

▶地域ボランティアから： 麻生区の緑地・公園をヤマユリで満たしたい！・・・4



▲5月新緑の季節「梨子ノ木緑地」 植栽地で茎立ちしたヤマユリ 周りの雑草よりも背高く伸びている。

開花案内

7月初旬から中旬、開花観賞どき！

開花展示会開催

今年、ヤマユリが我が麻生区の花に指定されました。その記念事業にあやかつて開花展示会を開催します。

◆開催期間：6月30日～7月17日

◆場所：麻生区役所ロビー

◆展示内容：実物の開花ヤマユリ鉢、ヤマユリの特徴・育て方・開花写真・当会の植栽活動などの写真パネル

◆植栽地区での見頃は、例年ですと左記の通りですが、今年は天候不順で開花が遅れ気味です。

△王禅寺地区△王禅寺すぎのき緑地、下麻生まつのき緑地…

7月8日頃

△万福寺地区△おやしる公園（十二神社東側緑地）…7月9日頃

△岡上地区△梨子ノ木緑地…

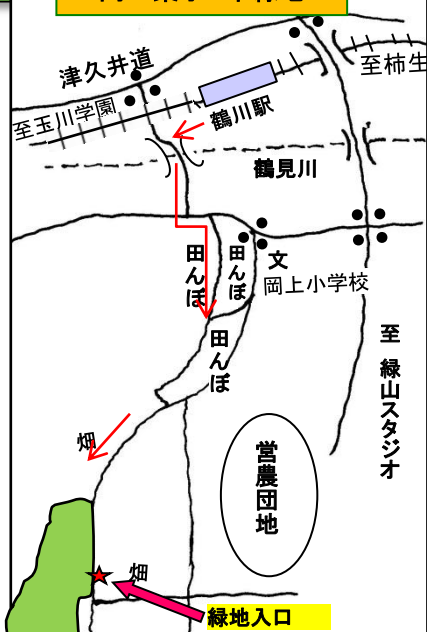
7月10日頃

△細山地区△授産学園（ログシヨップ裏）…7月12日頃

注：初夏の緑地散策は、飲み物と虫さされ予防、そして足下仕度を…



岡上梨子ノ木緑地



緑地入口

岡上梨子ノ木緑地

緑地散策の心得！

- ① 悪路のため足下は、スニーカーで…。
- ② 蚊やハチ刺され予防支度を…。
- ③ 植栽地を踏み荒らさない。
- ④ ヤマユリに触らない。
- ⑤ 山野草を持ち帰らない。

植栽地は、小田急線の鶴川駅南口から徒歩二〇分程度の「岡上梨子ノ木緑地」の中にある。鶴見川の清流に架かる橋を渡り進むと左の通りに入る。左手に田んぼの中道が見える。田んぼを左右に見ながら中道を抜け、民家もまばらな緑地帯に入る。右手に畑を見ながら、なだらかな上り坂を五、六分進むと左手に畑が開けてくる。右手の小山が目的の緑地。入口に手作りの扉が見えてくる。この扉をくぐり階段を十五、六段登ると左手に用具小屋。その前の小径をクヌギの若林の中を進むとススキの育成地に入る。右手奥に茅葺きの作業小屋が目に入る。その先、一帯が、約二千㎡の植栽地。藪を切り拓いて六年目、ようやく植栽地の形が整ってききました。

五月中旬頃には、開花が見込める親球根の茎立ちを百二、三〇株確認。ヤマユリの育苗地の小球根の茎立ちも、昨年までは、芳しくなかったが、今年は、三、四〇本は確認できました。将来が楽しみです。春先の芽吹き時は、毎年のように、この植栽地では、アブラムシなど病害虫による折角、開花直前まで生育し

万福寺おやしろ公園



▲植栽地から津久井道が見下ろせる



▲5月ツル草の駆除作業

万福寺おやしろ公園

植栽地は、新百合丘駅から徒歩一〇分弱。津久井道沿いの十二神社東側の小高い丘の上にある。当会お勧めの散策地です。何よりも駅から近いこと。今年は、茎立ちの株が百本以上。七月初旬頃には、芳しいヤマユリの香りが漂い、大輪の花が咲き乱れることでしょう。

た株をシンクイムシに食い倒されたりしています。予防のために、今年も薬剤散布を行いました。六月の生育ぶりから、今年は、最高の花見ができそうです！

生育の大敵は、病害虫とツル草

春の芽吹きなどの管理は、順調な生育にとって最も大切な時節です。株にツル草が巻き付く物理的な被害もさることながら、手遅れの病害虫対策は、左の写真のような致命的な被害を受けてしまいます。



種蒔き鉢：1枚葉の葉枯れ



6月シンクイムシの被害



ツル草は根から駆除

下麻生まつのき緑地

この緑地へは、小田急バスで新百合ヶ丘駅から大谷行ききの終点で下車。徒歩五分の閑静な住宅内にある（左図参照）。

植栽地の二面の緑地斜面は、道路脇から見上げるような場所であり、開花時は、愛犬の散歩感覚で観賞できます。また、この緑地の上は遊具のある公園になっていて、そこからも鑑賞でき、近所の方々の楽しみの場所にもなっています。



▲5月ツル草との駆除作業

王禅寺すぎのき緑地

この緑地へは、小田急バスで新百合ヶ丘駅から大谷行ききに乗車、終点の一つ前「王禅寺中央中学校前」で下車。徒歩七、八分の閑静な住宅地内にある（上図参照）。

目標は、「王禅寺こども文化センター」。その丁字路を左折し右手の斜面が植栽地。展望するほどの広さはありませんが、立派に整備された階段もあり、安心して開花を堪能できる緑地です。

この地は、杉木立の中を拓いて四年目、当初は、生育を心配しましたが、杉の枝おろしなどの保全活動で今や、立派な植栽地。いや将来を楽しめる自生地として再生しているのではないだろうか。近くの「下麻生まつのき緑地」へは徒歩で一〇分程度なので、そこまで足を伸ばすのも一興か。



▲芽吹き時、ツル草との駆除、発芽・発育の状態を調査

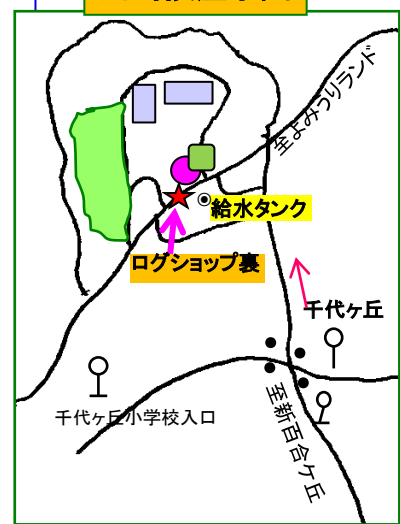
川崎授産学園

植栽地へは、小田急バスで新百合ヶ丘駅から千代ヶ丘方面に乘車、千代ヶ丘で下車。川崎授産学園への坂を徒歩一〇分。当学園は、麻生区内で一番の高度地であり、目標は二基の巨大な給水タンク。その向かい側に学園ボランテアによるログショップがあり、その裏側が植栽地。二年前までは学園入口の左の緑地内で取り組んできましたが、日当たりがよくないために学園の好意で、二百m程度の東斜面に移植しました。作業用の通路・階段をつけ、ロープ柵も設けました。

チガヤの茂る新植栽地は、いささか日当たりが良すぎる感があり、生育が芳しくありません。地質が問題か？生育の様子を窺いながら進めています。



川崎授産学園



病害虫予防には、殺菌剤500倍液、殺虫剤1000倍液、展着剤を混ぜた液剤を散布



ウイルス感染による蕾の割れ



ウイルス感染による縮れ



ウイルス感染による葉のモザイク

麻生区の緑地・公園をヤマユリで満たしたい!

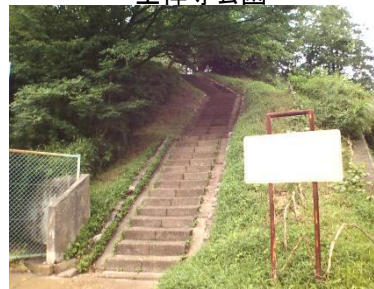
現在、こんな緑地で植栽への協議を進めています。



王禪寺公園



黒川よこみね緑地



弘法の松公園



百合丘第3公園

今年、ヤマユリが区の花に選定されたせいか、区内で急にヤマユリへの関心が高まり「われわれが日頃世話している緑地・公園には、かつてヤマユリが自生していたが、今や見られなくなつた。何とか再生させたいが、協力を願えないか」「街興しのツールにならないか」などの問い合わせが増えてきました。

当会は、ヤマユリ再生活動を始めて六年になりますが、小規模ながら何とか区民のみなさんが鑑賞いただける程度の植栽地を再生できました(二、三ページ参照)。

諸先輩の意志を引き継いで取り組んでまいりましたが、ヤマユリ再生は、地味で根気のいる活動です。ヤマユリは、園芸植物ではありません。生育にデリケートな山野草です。独善は失敗の元、耳学問ではなく、実践者の助言指導が必須であることを学びました。こういった点を協調できるみなさんと一緒に保全活動に取り組みたいと思います。

そうなんだ 問答

ヤマユリの種を蒔いても、なかなか増やせませんが…

秋に採取したヤマユリの種を一般の野菜のように翌年の春に直蒔きしても、数日後に発芽するわけではありません。ヤマユリの種は、夏の暑さと冬の寒さに晒されて初めて春の発芽を迎えます。それだけでは十分ではありません。さらに大切な条件は、地中5mm、1cm程度の深さに蒔くことと適度な湿度を保ち続ける必要があります。自然界では、こういった諸条件が揃うことは、非常に希なことであること



▲蒴果の中に詰まった種

は察しがつきます。だから「種の保存」のために、一つの蒴果の中に四、五百もの種を実らせるのでしよう。何とも不可思議ですね。

「この寒さと暑さに晒す順番は?」暑さが先でその後寒さに晒すことのようにです。前年の秋採りの種を常温で保管し7、8月ごろまでに種蒔きして夏の暑さに晒します。その後、冬の寒さに晒すことができれば、春には芽吹くことが確かめられています。

会員募集中

地域のボランティアのみなさんと一緒に“ふる里自慢”のヤマユリに親しみながら緑地で汗を流しませんか。

年会費：1,200 円

定例会議：原則、毎月第2木曜日(午後2時~4時)

会 場：交流館 やまゆり

植栽活動：指定の各緑地(月に1回~2回)

★問合せ・連絡先：当会会長(事務局) 貞本 勉

TEL：090-7175-4995

E-mail：tsutomu.sadamoto@nifty.com

行事予定

7~9月の主な予定

6月30日~7月17日：ヤマユリ開花展示会(区役所ロビー)：ヤマユリ鉢植えの実物、写真パネル

7月：ヤマユリ開花マップ調査

9月末：広報紙「ヤマユリ通信 開花号」発行

7月~9月：ヤマユリ植栽活動(5カ所)